

開倫ユネスコ協会2025年度文芸大賞統一テーマ『私の～宝物（大切なもの）』、人をひきつけ、魅了するソフトパワーを持つ「宝物（大切なもの）」を、深く理解。文芸作品として、自分のことばでいい表し、表現・説明してみよう

開倫塾

塾長 林明夫

Q：開倫ユネスコ協会は、2026 年 1 月に創立 25 周年を迎えるそうですね。おめでとうございます。

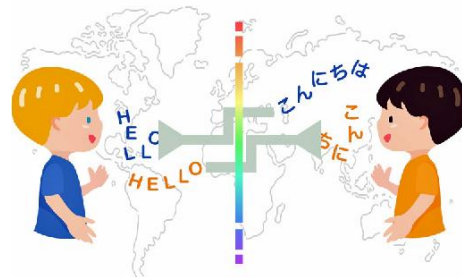
A：（1）ありがとうございます。皆様のおかげと、心から感謝いたします。そこで、創立 25 周年記念事業の一つとして、2025 年度「開倫ユネスコ文芸大賞」の「統一テーマ」を、人をひきつけ、魅了するソフトパワーを持つ「私の～の宝物（大切なもの）」とさせていただき、今までの自由なテーマのものとともに、募集させていただきたく思います。

（2）「開倫ユネスコ文芸大賞」は、「童話大賞」からスタート、「童話大賞」「小説大賞」「エッセイ大賞」「ポエム（詩）大賞」「デザイン大賞」「NIE 大賞」「書道大賞」など、様々な分野で作品を募集。毎年 9 月が応募締切、10 月表彰式となっています。

（3）10 月の表彰式では、各分野の専門の先生との交流会もあり、とても好評です。

○是非、今から、ご準備ください。開倫ユネスコ協会創立 25 周年を前に、本年度は、「塾生、一作品」をお願いいたします。

○保護者、地域社会、ビジネスパートナー、開倫塾の全スタッフの皆様も、是非、作品をご提出なさり、「ユネスコ活動」にご参加ください。



Q：人をひきつけ、魅了するソフトパワーを持つ「私の～の宝物（大切なもの）」とは、例えば、どのような内容が考えられますか。

A：（1）開倫ユネスコ協会が、設立前からずっとお世話になっている「足利ユネスコ協会」では、「私の街の宝物」を「テーマ」に、長年、「絵画展」を実施。足利市内の小中学校を中心に募集し、優秀な作品を表彰。足利市にあるショッピングセンター「アピタ」で優秀作品の展示会をなさっておられます。

（2）「足利ユネスコ協会」では、60 年以上、毎年夏休みに、1 週間の「足利ユネスコ学校」を開催。足利市の教育プログラムとして、全国から高く評価されています。私も、小学生のときに参加させていただき、多くのことを学び、ユネスコ活動が大好きになりました。

（3）足利ユネスコ協会の「私の街の宝物」絵画展では、「日本最古の学校、足利学校」「8 月第 1 土曜日の足利大花火大会」「森里千里によってうたわれた、渡良瀬橋」「足利フラワーパーク」「足利市の中央にある国宝、鏝阿寺（ばんなじ）の本堂や大イチョウ」「節分の日の鎧（よろい）行列」などの絵画作品が毎年出るよう



○「私の塾、開倫塾の宝物」の「テーマ」の作品も、是非ご提出ください。

2025 年 5 月 10 日 (土) 9 時 12 分